

## 高齢者在宅支援生活について

奥山 幸洋 議員



答 医療・介護関係者と連携し進めていく

**問** 明和町総合戦略で「ともに支えあう地域福祉と健康づくりの中での取り組み」について言われている。明和町高齢者介護に関する平成24年3月の調査報告書で在宅要介護者の夜間の訪問介護が望まれているが、今後の取り組みについて伺う。

**町長** 住み慣れた地域で安心して生活ができるように、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に地域で提供できる新しい仕組みである「地域包括ケアシステム」の体制づくりに取り組み、関係者と協議を進めながら、このシステムの構築を図っていく。

**問** 高齢者が看取られる時に、家族に看取られたいという気持ちがあっても24時間サポートが無い、今後の取り組みについて伺う。

**町長** 施設整備だけでは、これからの高齢化社会の高齢者に介護、医療サービスの提供ができないということ踏まえ、国においても包括ケアシステムにおいて、いろいろな職種が連携して対応する体制づくりの取り組みを始めたところである。

町においても、他職種連携会議を開催しており、在宅で、生活支援が受けられるような体制づくりを目指し、平成29年、30年に向けて、医療・介護関係者と連携し進めていく。

## 主要幹線道路の整備について

答 明和町都市計画マスタープランに基づき実施を図る

**問** 明和町第5次総合計画で町の将来像として歴史と文化と自然が輝き、快適で心豊かな「和」のまちとして快適で機能的なまちづくりで道路網の整備がいわれている。道路のネットワーク、道路幅員、歩道等を含めた道路整備の中長期的なビジョンの取り組みについて伺う。

**町長** 現在町には、平成8年に策定、平成23年に改定された『明和町都市計画マスタープラン』がある。その中に、道路の整備方針が記載されており、その方針に基づき実施を図りたいと考える。ただ具体性にかける内容もあり、6月議会の一般質問で回答させていたように、明和中央線事業の実施方法、また他路線についても具体的に検討したいと考える。



明和町都市計画マスタープランより